



イオン北海道からみなさまへ

共生社会の実現に向けて

パラスポーツの推進



ボッチャ体験会



車いす・ボッチャセット
贈呈

イオン 社会福祉 基金

施設での雪かき・
清掃活動など



品物の贈呈



ボランティア活動

イオン北海道は「イオン社会福祉基金」を通じ、 「ボランティア活動」や「パラスポーツの推進」を行っています

イオンは、全国の障がい者の社会活動への参加促進、障がい者福祉の向上を図ることを目的に、1977年に「イオン社会福祉基金」を設立しました。この基金は労使双方が一人当たり毎月50円ずつを積み立てるもので、この基金を通じ、「ボランティア活動」のほか、2022年度より「パラスポーツの推進」にも力を入れています。

2025年度は、2026年2月までに本社および道内の各店舗において障がい者福祉施設での清掃のお手伝いや各種イベントへの参加などを

行っています。また、パラスポーツの推進として、イオンモール札幌発寒とイオンモール札幌平岡にて、従業員がボランティアスタッフを務める「ボッチャ体験会」を実施したほか、ボッチャ大会の運営・参加を行っている「NPO法人カムイ大雪バリアフリー研究所」へ車いす・ボッチャセットを贈呈しました。

当社はこれからも、共生社会の実現に向け、ボランティア活動やパラスポーツの推進を行ってまいります。



SDGsの取り組み



SDGs（持続可能な開発目標）とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標3、10、17の達成に貢献します。